

地域の皆様
保護者 様

さいたま市立大谷小学校
校長 高崎 芳和

「令和5年度 大谷小学校の教育活動に関するアンケート」 の結果とその考察・改善策

本校では、教育活動の改善や充実を図ることを目的に、今年度も、教職員アンケートによる自己評価をはじめ、児童アンケート、保護者アンケートによる、「令和5年度 大谷小学校の教育活動に関するアンケート」を実施いたしました。また、過日、学校運営協議会準備委員の方々から大谷小学校の教育活動等について評価をいただきました。

保護者の皆様におかれましては、様々な視点から、これからの本校の教育活動の改善や充実を図るためのご意見を頂戴いたしましたこと、心よりお礼申し上げます。ここに、それらの内容及び結果分析と、改善に向けた具体的方策について皆様に報告いたします。今後、さらに活力あふれるよりよい大谷小学校をつくってまいりますので、皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

1 学校評価の内容

- (1)児童アンケート結果
- (2)保護者アンケート結果
- (3)教職員アンケート結果
- (4)考察と改善策
- (5)改善に向けたアクション5

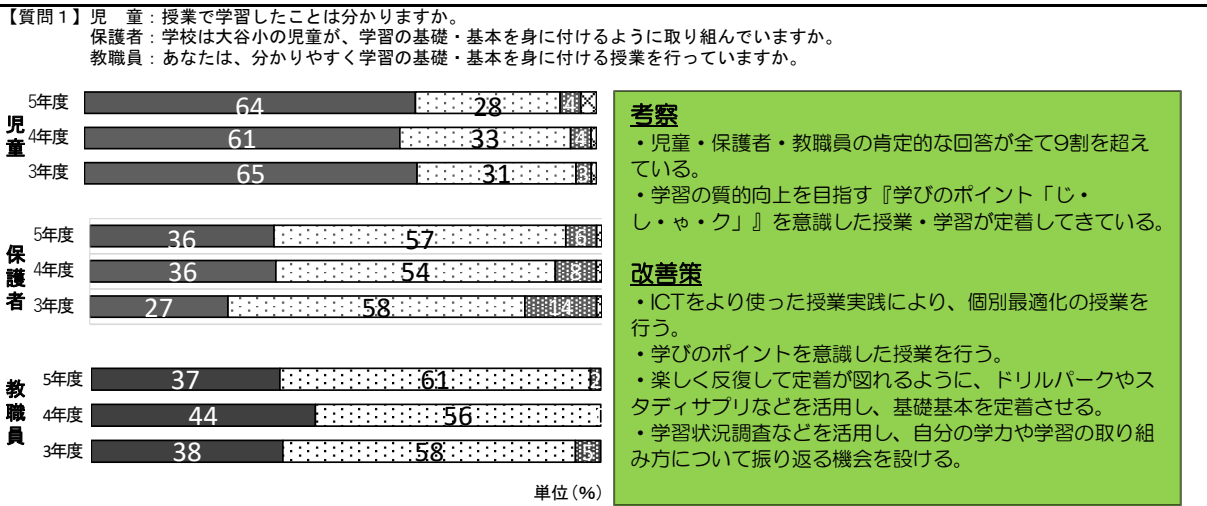
2 結果・考察等

- (1)Formsアンケートでの回答としている。
回答方法がさらに容易になり、今年度は822件(前年度比+192件)であった。保護者の方々の本校の教育活動への関心の高さがうかがえる結果となった。
- (2)「学力アップ(Grit)」については、児童、保護者の評価、教職員の自己評価ともにおおむね高い評価を得ることができた。学びのポイント「じ・し・ゃ・く」を意識した授業やICTを活用した指導方法の工夫を行った。今後も、タブレット等を有効に活用した、反復学習による基礎基本の学習内容の定着を図っていくことが重要である。
- (3)「ハートアップ(Global)」については、児童、保護者、教職員ともにおおむね高評価であった。
いじめの積極的認知といじめ見逃し0、教育相談体制の充実に関し、今後はより力を入れていく。
- (4)総合的に見ると、概ね高い評価を得ている。学校運営協議会での熟議を重ね、「地域とともにある学校」として学校が家庭、地域と連携・協働して子どもを健全に育てていくための具体的な方策を推進していく。

3 学校の対応について

- ・今年度は「学ぶ楽しさを味わい、自ら学びに向かう児童の育成」を研究主題に学校課題研究に取り組んでいる。「自分で決めて、思考し、やってみる」というスパイラルを中心に、児童の実態に即した学習活動を工夫していく。
- ・さいたま市GIGAスクール構想に沿った指導法を研究し、エバンジェリストを中心に指導内容や指導方法の改善・向上のための校内研修を実施した。これを児童の学力向上につなげていく。
- ・学校評価において、「ハートアップ(Global)」に関する項目は、今後も引き続き高評価を得られるよう、児童を積極的に評価・称賛し、児童の自己肯定感、自己有用感を高められるよう、全職員で児童の心に寄り添っていく。
- ・「いじめはどの学校、学級でも起こるもの」との認識の下、担任を中心とした全職員で児童の些細な異変も見逃さない意識をもち、認知したときは、早期に組織的に解消を目指す。(いじめの積極的認知・いじめ見逃し0)
- ・児童の相談や悩み、保護者の教育的ニーズを汲み取り、児童の健全な育成を推し進める。
- ・コミュニティ・スクールをより推進し、学校の教育活動や取組をさらに積極的に発信し、家庭、地域と連携・協働して、「地域とともにある学校」を目指す。

■1番目…よくあてはまる □2番目…ややあてはまる ■3番目…あまりあてはまらない □4番目…まったくあてはまらない

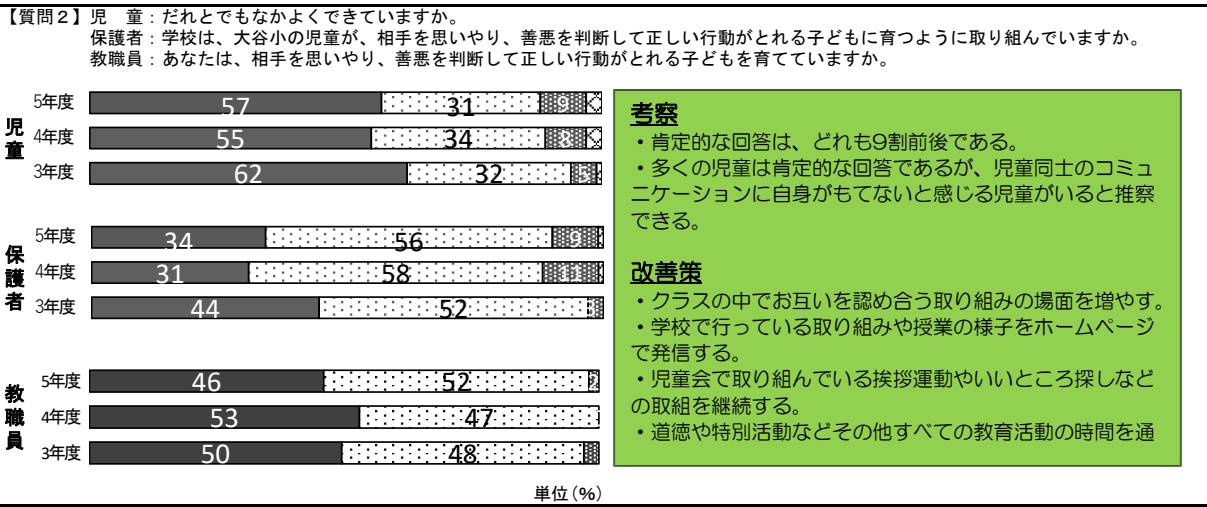


考察

- 児童・保護者・教職員の肯定的な回答が全て9割を超えている。
- 学習の質的向上を目指す『学びのポイント「じ・し・や・く」』を意識した授業・学習が定着してきている。

改善策

- ICTをより使った授業実践により、個別最適化の授業を行う。
- 学びのポイントを意識した授業を行う。
- 楽しく反復して定着が図れるように、ドリルパークやスタディサブリなどを活用し、基礎基本を定着させる。
- 学習状況調査などを活用し、自分の学力や学習の取り組み方について振り返る機会を設ける。

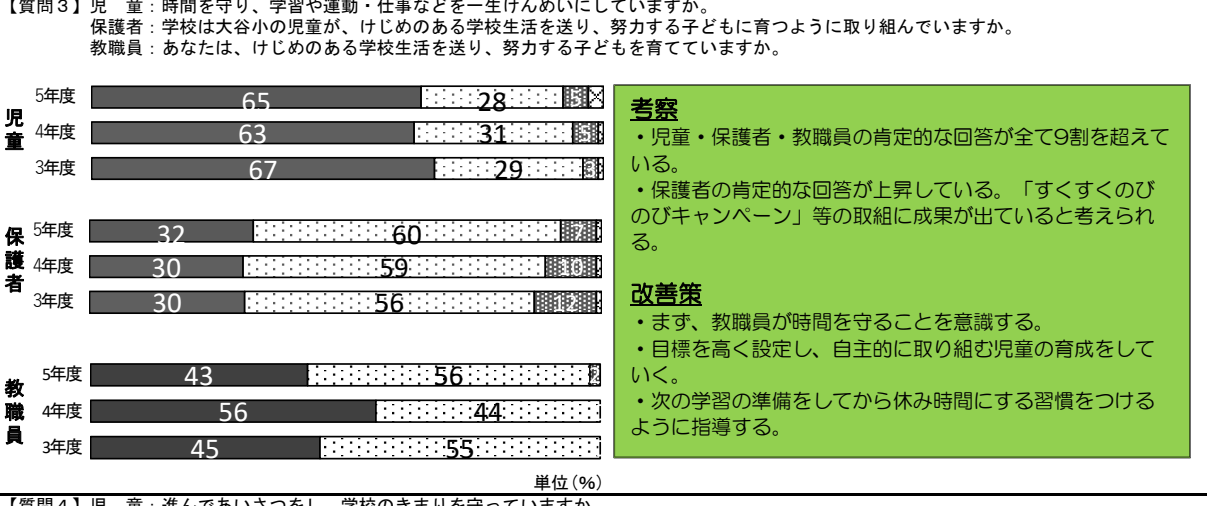


考察

- 肯定的な回答は、どれも9割前後である。
- 多くの児童は肯定的な回答であるが、児童同士のコミュニケーションに自身がもてないと感じる児童があると推察できる。

改善策

- クラスの中でお互いを認め合う取り組みの場面を増やす。
- 学校で行っている取り組みや授業の様子をホームページで発信する。
- 児童会で取り組んでいる挨拶運動やいいところ探しなどの取組を継続する。
- 道徳や特別活動などその他すべての教育活動の時間を通

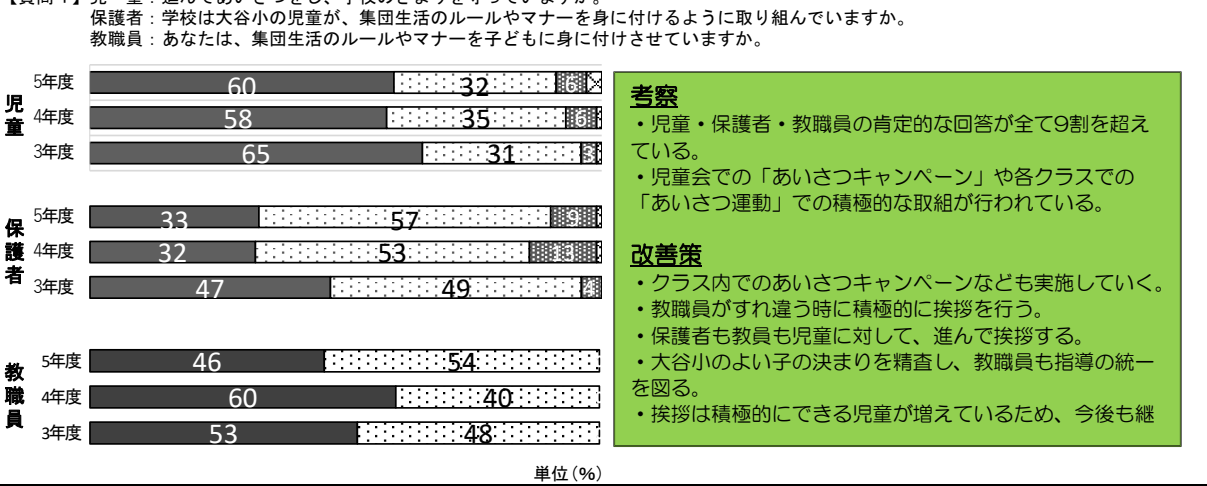


考察

- 児童・保護者・教職員の肯定的な回答が全て9割を超えている。
- 保護者の肯定的な回答が上昇している。「すすすくのびのびキャンペーン」等の取組に成果が出ていると考えられる。

改善策

- まず、教職員が時間を守ることを意識する。
- 目標を高く設定し、自主的に取り組む児童の育成をしていく。
- 次の学習の準備をしてから休み時間にする習慣をつけるように指導する。



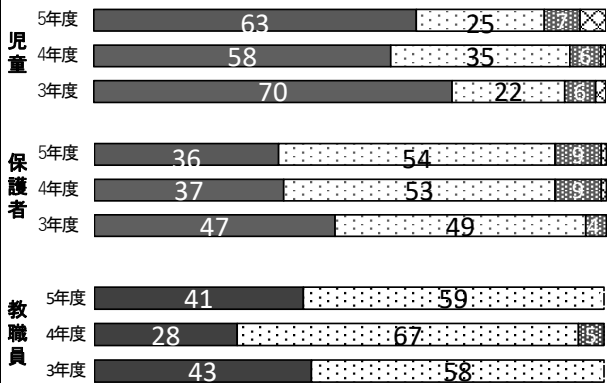
考察

- 児童・保護者・教職員の肯定的な回答が全て9割を超えている。
- 児童会での「あいさつキャンペーン」や各クラスでの「あいさつ運動」での積極的な取組が行われている。

改善策

- クラス内でのあいさつキャンペーンなども実施していく。
- 教職員がすれ違う時に積極的に挨拶を行う。
- 保護者も教員も児童に対して、進んで挨拶する。
- 大谷小のよい子の決まりを精査し、教職員も指導の統一を図る。
- 挨拶は積極的にできる児童が増えているため、今後も継

【質問5】 児童：毎日、楽しく学校にきていますか。
 保護者：学校は大谷小の児童が、友達と仲よく生活し、楽しく学校に通うように取り組んでいますか。
 教職員：大谷小学校の子どもたちは、生き生きと学校生活を送っていますか。



単位 (%)

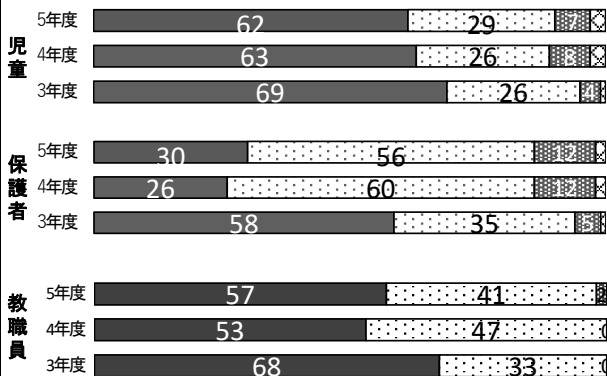
考察

- ・肯定的な回答は9割前後である。
- ・概ね肯定的な回答だが、学習や友達との関わりで、不十分だと感じる児童が一定数いることが分かる。

改善策

- ・児童楽しいと思えるような授業を実施する。
- ・行事の精選を行い、無理のない範囲で対面実施を行う。
- ・今後も児童の良いところを認め励ましていく。

【質問6】 児童：児童会や学級でのいじめ撲滅の取り組みをもとに、いじめのない学校、学級にしようと努力していますか。
 保護者：学校は、いじめ防止基本方針のもと、組織的に、積極的にいじめ防止に取り組んでいますか。
 教職員：あなたは、いじめ防止基本方針のもと、組織的に、積極的に指導していますか。



単位 (%)

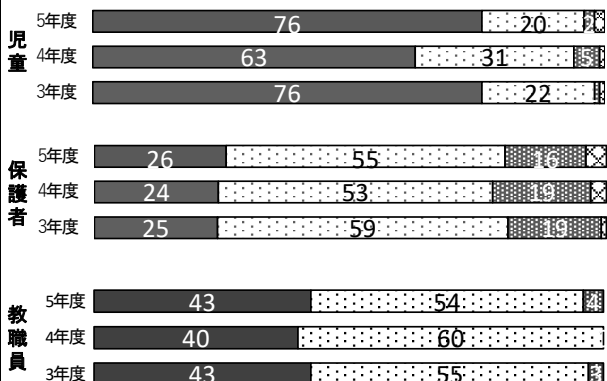
考察

- ・肯定的な回答は9割前後である。
- ・「よくあてはまる」の回答割合が低いことから、具体的な取組の周知が足りないことが推察できる。

改善策

- ・積極的にいじめ認知を行い、学年全体で見守りをしていく。
- ・地域に児童会の取組を周知し続けていく。
- ・いじめが起きない風土を作るために、相手のよさに目が向くような取組や、学級学年で力を合わせていけるような取組を行う。
- ・児童会や学級の活動を通して、継続していく。

【質問7】 児童：きちんとそうじをして、学校をきれいにしていますか。
 保護者：学校は、学習に集中できる、安全できれいな学習環境を整えていますか。
 教職員：あなたは、学習に集中できる、安全できれいな学習環境を整えていますか。



単位 (%)

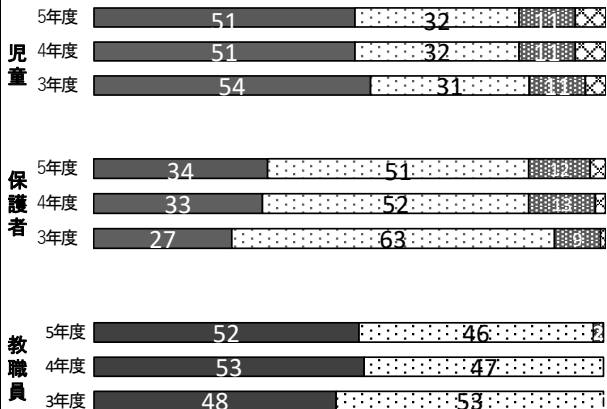
考察

- ・児童の「よくあてはまる」の回答が昨年度に比べて10p以上上昇した。
- ・保護者の肯定的な回答は8割前後であることから、老朽化した学校施設への要望を反映していると推察できる。

改善策

- ・効率的なそうじの仕方などを指導し、声掛けを行う。
- ・掃除の合言葉「もくもく、すみすみ、びかびか」を決めて、上手な掃除の仕方を美化委員会が広げたり、ペア学級で教え合ったりして、掃除への意識を高める。
- ・安全面も考え老朽化した施設はさらに補強していく必要がある。

【質問8】 児童：困ったことや悩みごとを先生に相談したり話したりしていますか。
 (困ったことや悩みごとがあれば、先生に相談したり話したりできますか。)
 保護者：学校は、子どもや保護者の相談や要望に適切に対応していますか。
 教職員：あなたは、子どもや保護者の相談や要望に適切に対応していますか。



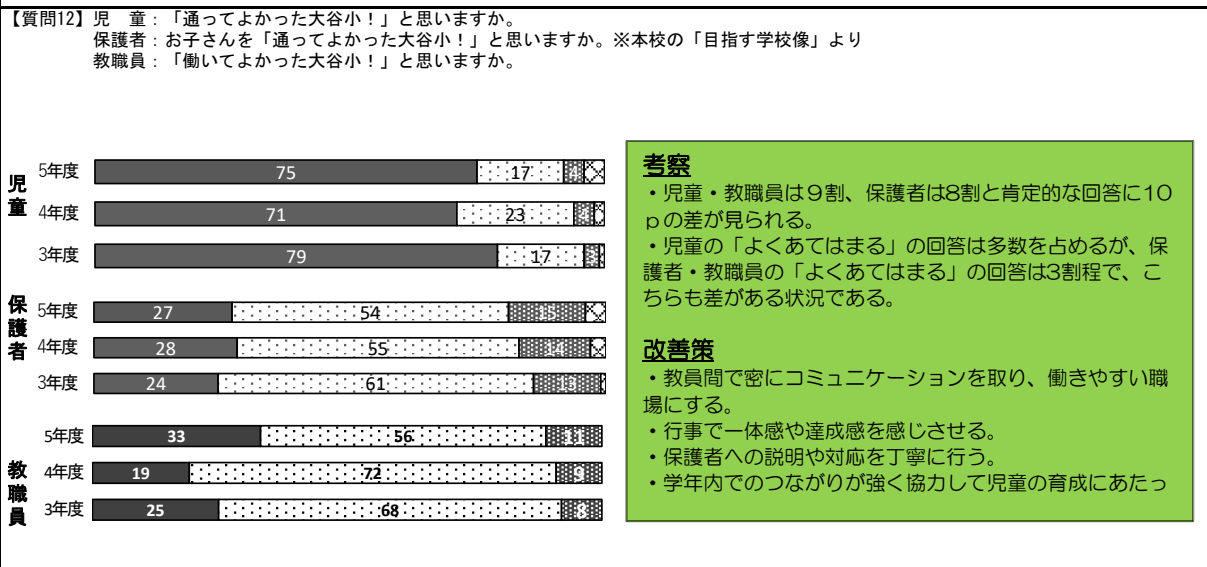
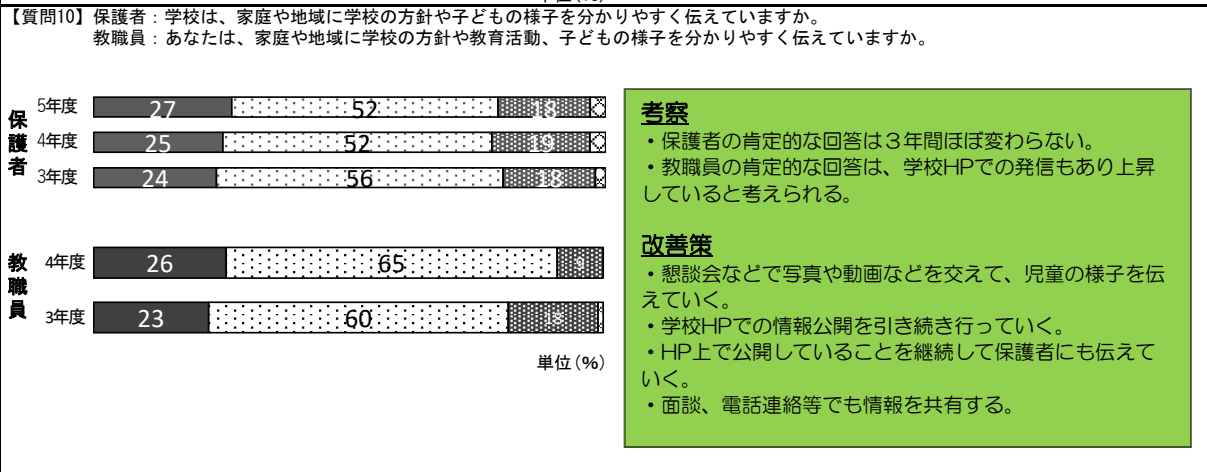
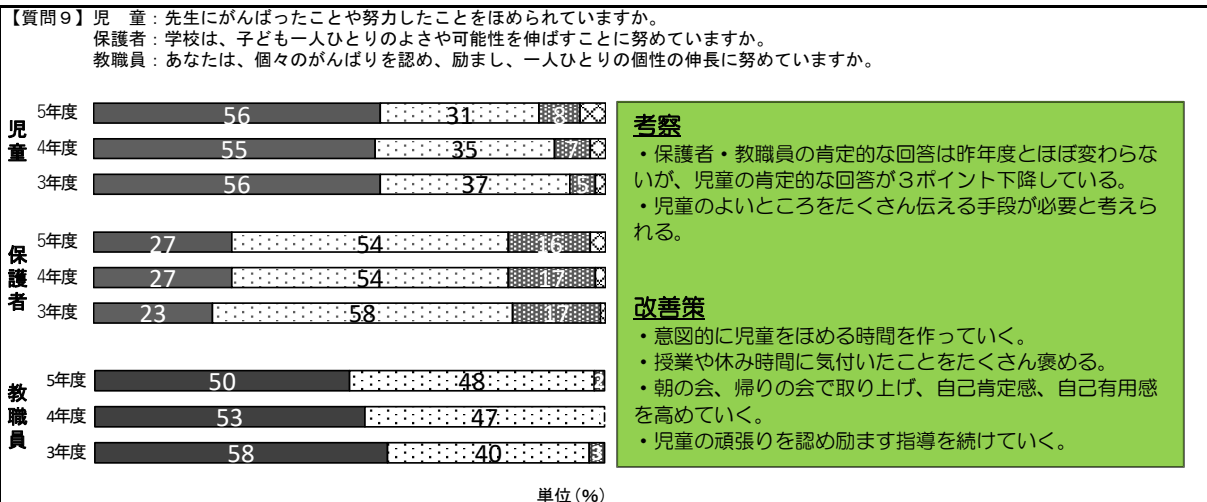
単位 (%)

考察

- ・児童の肯定的な回答が8割程である。
- ・だいたいの児童は肯定的な回答をしているが、一部児童へのきめ細やかな対応や話をゆっくりと聴く時間が足りないことが推察される。

改善策

- ・次年度への引継ぎを行い、継続して関わられるようにする。
- ・学校で行っている取組や授業の様子を学校HPで発信する。
- ・日頃から話しやすい関係づくりを心がける。
- ・学年全体学校全体で児童を見ていく。
- ・会議や行事を精選し、児童の対応に時間が取れるよう努力していく。



改善に向けたアクション5

- 1 大谷小学校は、子ども一人ひとりのよさや努力のプロセスに目を向け「**ほめて伸ばす教育**」を推進し、**児童の自己肯定感・自己有用感を高め**ます。
- 2 大谷小学校は、**学習の質的向上を目指す学びのポイント「じ・し・ゃ・く」**でつながる**学びの充実**を図り、**児童の学習意欲向上、学力の向上**を目指します。
- 3 大谷小学校は、授業や行事、その他教育活動で**友達や人、自然、ものと豊かにかかわる体験活動を充実**させ、**児童の豊かな心をはぐくみ**ます。
- 4 大谷小学校は、家庭、地域と連携を図って「**いじめ防止基本方針**」「**大谷小よい子のやくそく**」の**共通指導**を行い、**いじめの積極的認知、いじめ見逃し0の学校**を目指します。
- 5 大谷小学校は、**学校の情報発信や、家庭・地域からの情報収集を積極的に行い**、「**地域とともにある学校**」として**コミュニティ・スクールの充実**を図ります。